

イヌワシのからだ

※ 動物に エサをやったり おどろかしたりしないでね！

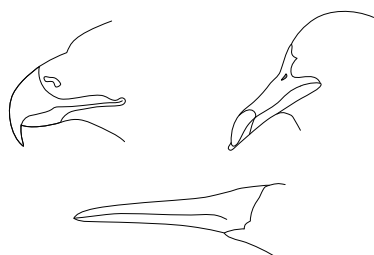
◆ イヌワシをよく見て、○ をつけよう！

フライングケージには、いろいろな種類のワシがいます。

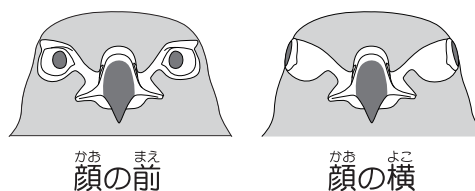
看板を見て、イヌワシを見分けよう！

イヌワシは、くちばしが灰色で、先の方が黒いのが特徴だよ。

くちばしは、どんなかたち？



目は、どこにある？

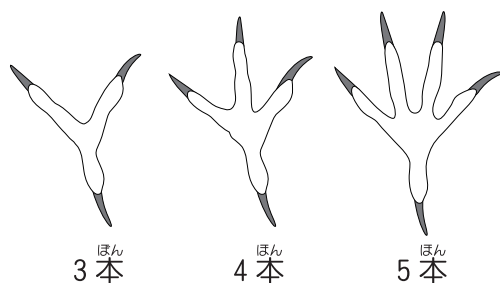


からだ
体は、なに色？

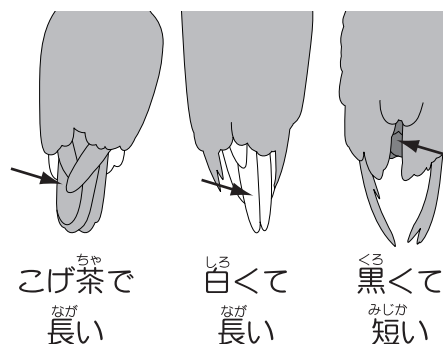


足の指は、なん本？

フェンスにとまっているイヌワシを
下から見ると、足を見やすいよ。



尾羽は、どれ？



イヌワシをよく^み見て、スケッチを^{かんせい}完成させよう！

め^{うえ}目の上にも特徴があるよ

あし^{はね}足の羽は、どこまで^は生えて
いるかな？

じめん^{えだ}地面・枝はこのあたり

ひろ^{つばさ}広げた翼のかたちは、どれ？



じめん^{はね}地面におちている羽を見つけよう

み見つけたら ○ をつけよう



イヌワシのからだ <解説>

イヌワシ (タカ目タカ科)

北半球に広く分布し、日本では北海道、本州、四国、九州の山地に生息します。草原や伐採地でノウサギなどの小〜中型哺乳類や鳥類、ヘビなどを狩ります。体重は3.2〜5.5 kg、翼を広げると（翼開長）2 mほどの大きさになる、大型のワシです。

くちばし

根元付近は灰色で、先に向かって黒くなります。かぎ状の先端は、獲物の肉をひきちぎるのに適しています。



からだの色の

全体的にこげ茶色です。成鳥はこれに加えて、後頭部が少し黄色がっています。この特徴から英語では“Golden Eagle”と呼ばれます。



オスとメスの違い

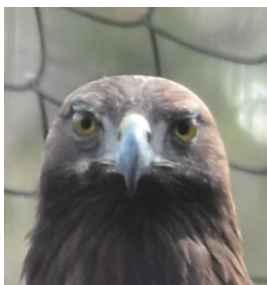
他のワシやフクロウなどの猛禽と同じく、メスの方が大きめです。繁殖期（冬）にオスメス2羽でよく一緒にいます。比べて見てみよう！



オス メス

目の位置

獲物との距離を正確に知るために、目は前を向いてついています。



足の指

指は4本あります（前3本、後ろ1本）。第1指（親指）は後ろを向いており、前を向いた他の指と一緒に曲げることで、獲物をしっかりとつかめます。



みぎあし
右足

つばさ 翼

なが、はば、ひろ
長く、幅の広いかたちです。飛ぶときは翼の先が指を開くように広がります。上昇気流を上手にとらえて、長時間羽ばたかずに飛ぶことができます。



おぼね 尾羽

と、ひら、と
飛んでいるときは、開いたり閉じたりして舵取りに使います。また木や枝に止まる際は大きく広げ、ブレーキにも使います。
せいちょう、おぼね、ねもと、ちやいろ
成鳥の尾羽は根元までこげ茶色ですが、ようちょう、おぼね、ねもと、しろ
幼鳥の尾羽は根元が白く、成長するにつれ、じょじょ、ちやいろ
徐々にこげ茶色に変わります。



わかどり おぼね
若鳥の尾羽

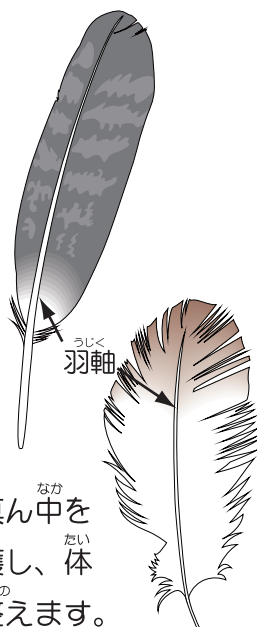
はね 羽のかたち

とり はね おお せいよう めんう わ
鳥の羽は大まかに正羽と綿羽に分けられます。イヌワシの羽は大きく、その特徴が分かりやすいので、観察してみてください。

① せいよう
正羽 じく うじく うす いた はね
軸（羽軸）があり、薄い板のようなかたちの羽です。翼や体の表面の羽の大部分が正羽です。「風切り羽」と「体羽」はその代表です。

かざ き ばね ・風切り羽

つばさ は なが じょうぶ はね うじく
翼に生える長くて丈夫な羽です。羽軸の左右で羽の幅がちがいます。翼を広げたときに幅の狭い方が翼の先端側、広い方がつけ根側を向くように並びます。



たいう ・体羽

からだ ひょうめん おお はね うじく はね ま なか
体の表面を覆う羽です。羽軸は羽の真ん中を通ります。体を雨や汚れなどから保護し、体形を風の抵抗をうけにくい流線形に整えます。

めんう ②綿羽

せいよう した そう は
正羽の下層に生える、やわらかい綿のような羽です。くきをよく含むので、ほおんせい、すぐ、たいあん、いじ
保温性に優れ、体温維持に役立ちます。

